

保護者の皆さんへ

家庭と学校で育む 子供の学び

練馬区教育委員会
教育振興部教育指導課

学びのガイド

令和6年度 全国学力・学習状況調査 練馬区の結果から

全国学力・学習状況調査は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に毎年行われています。

教科に関する調査では、毎年国語と算数・数学の2科目を対象としています（理科や英語を追加して行う年があります）。また、質問紙調査では、生活習慣や学習習慣、自己肯定感等に関わる質問を通して、学習状況や学習に関する意識が調査されています。この調査の分析結果から見てきた課題を基に、児童生徒の学力向上に向けた授業改善や、ご家庭において知っていただきたい生活習慣等についてまとめ、掲載しました。

教科に関する調査結果

国語

平均正答率 (%)	小学校6年	中学校3年
練馬区	71	62
東京都(公立)	70	61
全国(公立)	67.7	58.1

算数・数学

平均正答率 (%)	小学校6年	中学校3年
練馬区	70	60
東京都(公立)	68	57
全国(公立)	63.4	52.5

※練馬区・東京都の平均正答率は整数での発表です。

練馬区は、国語、算数・数学ともに東京都や全国と比べ、結果が高い傾向でした。また、特に算数・数学においては、「好き」、「分かる」と肯定的に回答した割合が高い傾向でした。



学校では

国語では、自分の考えと理由や事例との関係を明確にしたり、事実と感想、意見とを区別して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることに関する指導の充実が大切です。

算数・数学では、社会生活の様々な場面で、必要なデータを収集・分析し、その結果を基に課題解決・意思決定するデータの活用能力の育成が大切です。

各教科において、児童生徒が自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行ったり、課題解決に向けて、自分で考え、取り組んだりするような活動を取り入れ、学習意欲や学ぶ意義を高めることを意識して授業改善に取り組むことが重要です。



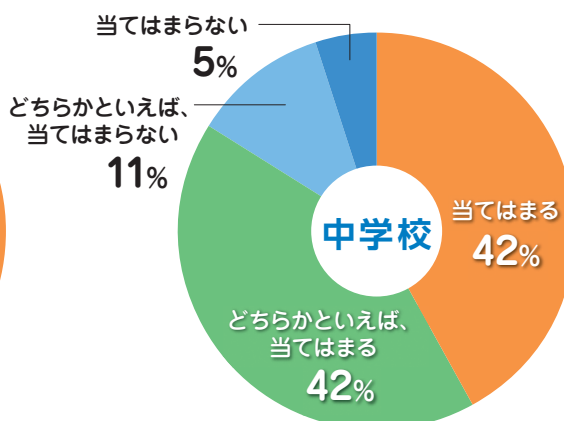
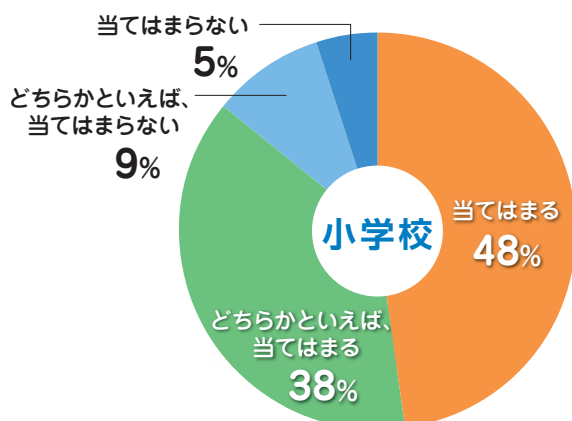
ご家庭では

学校で学んだ内容について、お子様に尋ねたり、話題にしたりすることは、学習の振り返りや、新たな気づきにつながります。

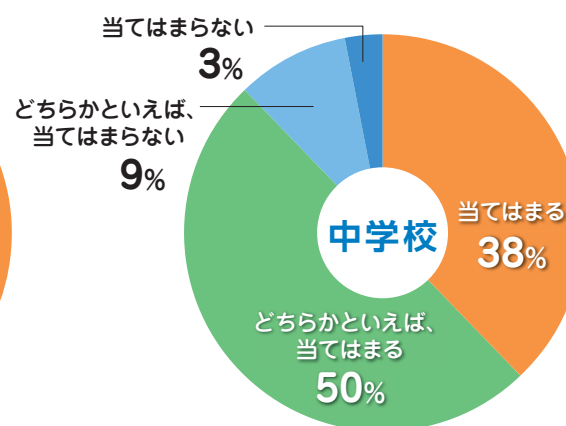
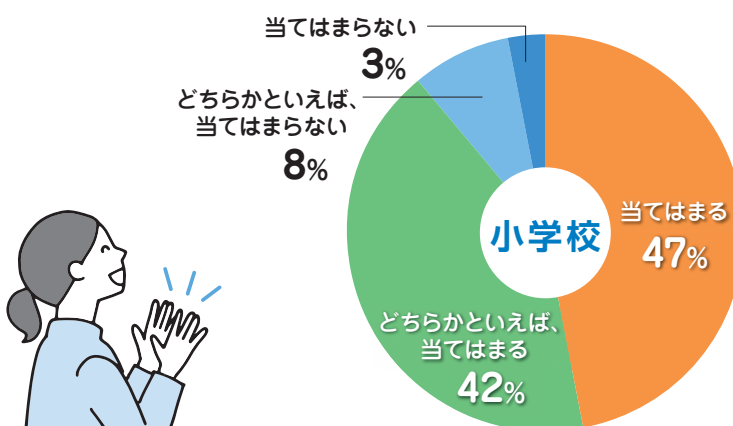
また、お子様に「どうやったらいいか」「どんな方法があるかな」と見通しをもたせたり、「どうしてそう考えたのかな」、「自分の言葉で説明してごらん」と理由や根拠を確認したり説明させたりすることも大切です。



自分にはよいところがあると思いますか



先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか



「自分にはよいところがある」という質問に、小学生の86%、中学生の84%が肯定的な回答をしています。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか」という質問には、小学生の89%、中学生の88%が肯定的な回答をしています。これらの質問に、肯定的な回答をした児童生徒ほど、各教科の正答率も高い傾向が見られます。



学校では

児童生徒のよさを認めたり、困りごとや不安がある際に、相談しやすい関係を構築したりすることで、自己肯定感の醸成や、心理的安全性の向上を図ることが重要です。また、学習においては、児童生徒が個人やグループで課題を設定したり、協働学習を通して課題解決を行ったりすることも大切です。個人・集団の目標を達成した際に、先生たちがしっかりと認めることが、児童生徒の自信につながります。



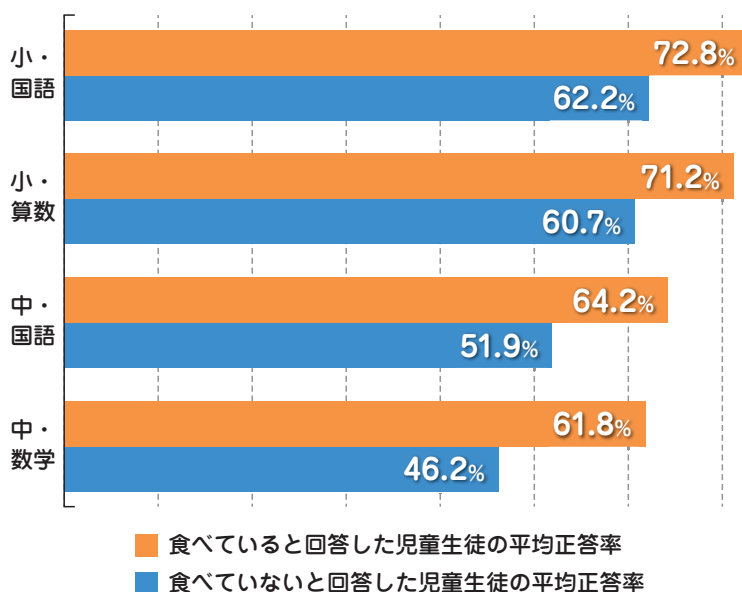
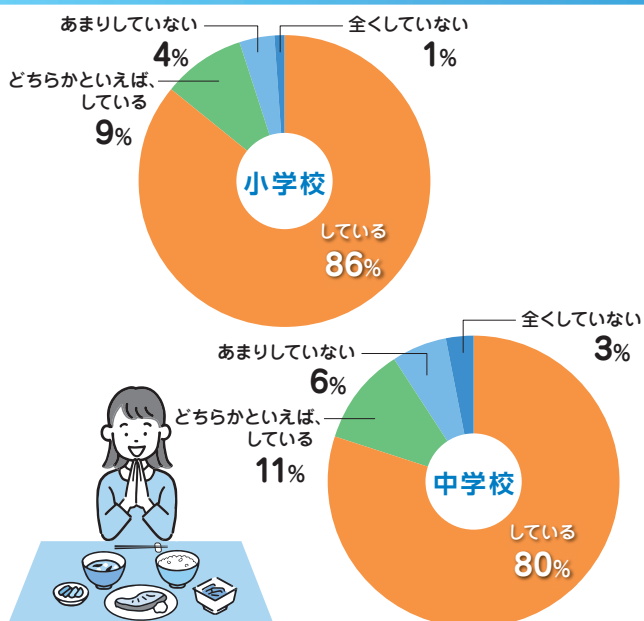
ご家庭では

「家の人にほめられる」「大切にされている」と感じるお子様は、「自分らしさがある」「長所がある」と感じやすい傾向があります。お子様の発言を受け止め、他のお子様と比較せずに、がんばりを褒めたり、認めたりすることが大切です。

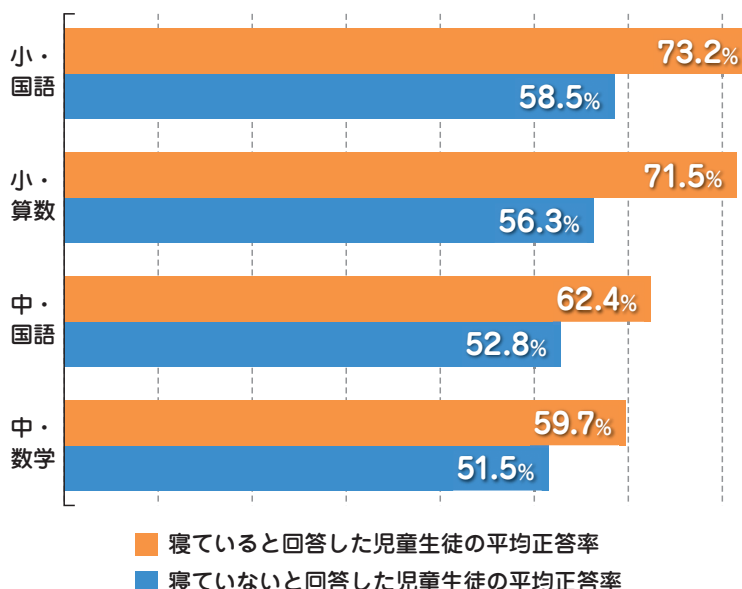
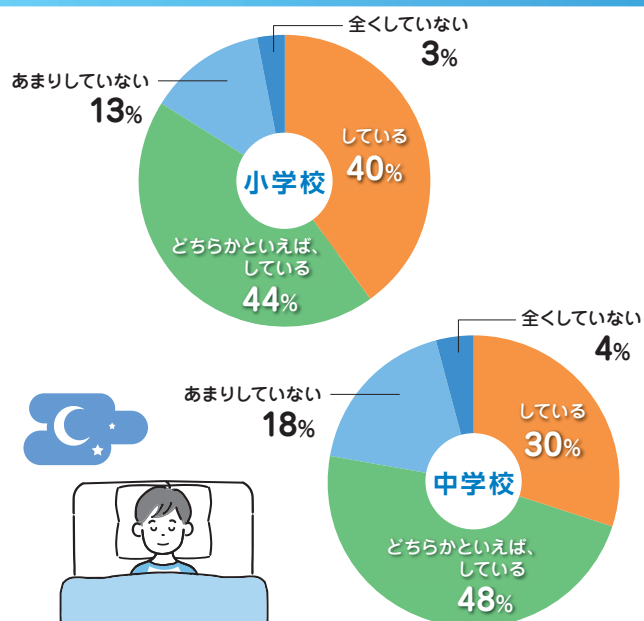
また、地域の活動に参加することで、様々な大人と関わる機会をもつことも重要です。

規則正しい生活習慣について

朝食を毎日食べていますか



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



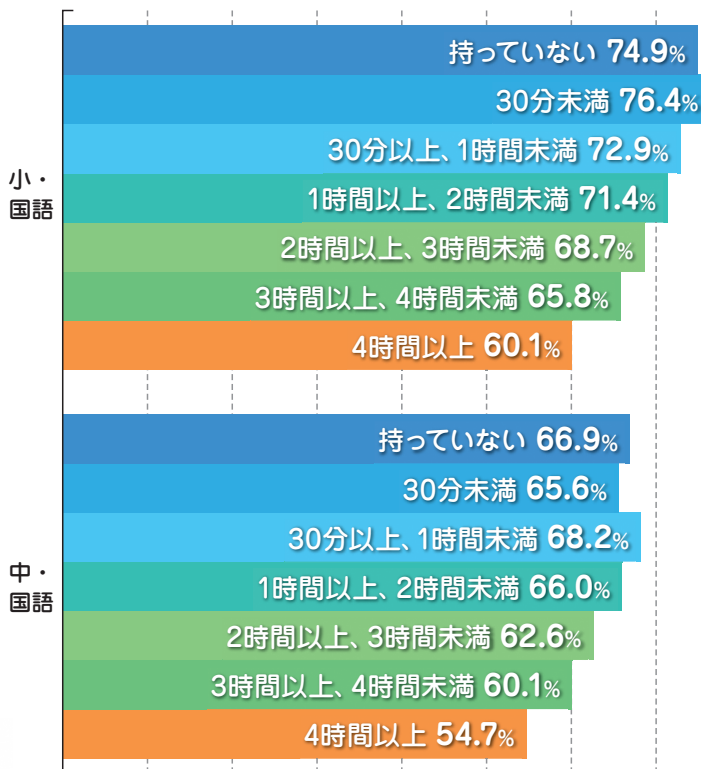
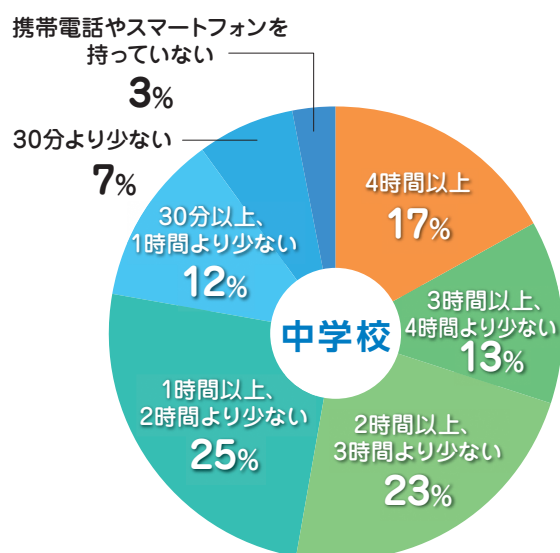
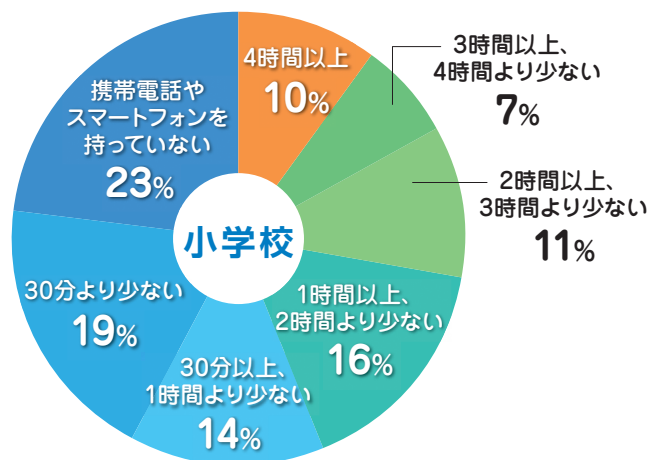
90%以上の児童生徒が、毎日朝食を食べています。一方、就寝時刻については、小学校の84%、中学校の78%が毎日同じくらいと回答しており、ばらつきが見られます。毎日朝食を食べる、同じくらいの時刻に就寝している児童生徒ほど、各教科の正答率が高い傾向が見られます。



ご家庭では

規則正しい生活習慣・学習習慣の確立には、保護者の方の関わりやご家庭でのルールづくりが大切です。児童生徒の成長段階に応じて、話し合って決める、自分で決めさせる、一緒に考える、振り返らせる、といったルールの決め方を工夫してみましょう。

普段、1日当たりどれくらいの時間、SNSや動画視聴をしますか



※ [見方] ■ SNS、動画視聴が「1時間以上、2時間未満」の児童の「国語」の正答率が「71.4%」

※ 算数・数学においても同様の傾向が見られました。

SNSや動画視聴時間については、小学生の28%、中学生の53%が1日2時間以上と回答しています。SNS、動画視聴の時間が長いほど、各教科の正答率が低い傾向が見られます。



ご家庭では

家庭学習や携帯電話・スマートフォン・SNS等の利用について、お子様とよく相談し、お子様と一緒にご家庭の決まりやルールを決めることが大切です。スマートフォン等の長時間使用による睡眠時間や視力への影響を考え、適切な使用方法を考えていきましょう。

児童生徒の学びのために…

本調査では、児童生徒の自己肯定感やウェルビーイングを育みながら、家庭での生活習慣を整えることが大切であると分かりました。日頃の、お子様との関わりにおいて参考にしてください。

令和7年3月発行 練馬区教育委員会 教育振興部 教育指導課
電話 (03) 5984-5759